



一、乃ハ
 仁保造
 知利奴
 手礼者
 高賣
 也未計
 安厄米
 小つち
 五畿内
 河内及
 揚洋
 天王寺
 日本國
 用天
 以冬
 まり
 以時
 小つち

高賣往來



九

高賣往來

凡高賣持扱又字

貞取取本日記

從文治又法九貨

入算用帳目錄

日本國
 用天
 以冬
 まり
 以時
 小つち
 五畿内
 河内及
 揚洋
 天王寺



東海道
伊豆
駿河

伊豆
駿河

東海道
伊豆
駿河
常陸
上總
下總



東海道
伊豆
駿河
常陸
上總
下總

仕切之是也先而智
金子大判小判
是步武兼金位不
多而謂南濠上根
子丁巨板所吹木

考原之在子者自
分厘毛拂之以下
秤分兩毫扣透刻
府之人亦實也難
穀穀稻子稻晚稻

午小南

陸奥
列
出
羽
列

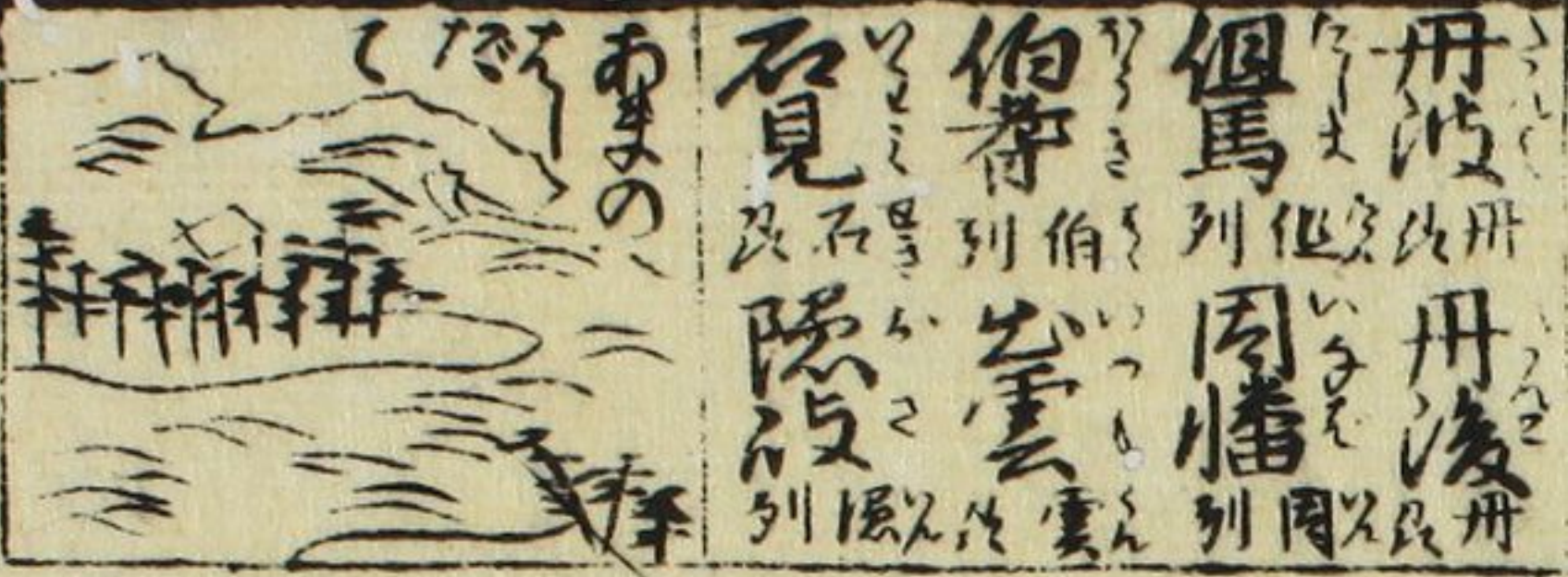


小陸道
七ヶ岳

義
捷
列
能
登
列
越
中
越
後
依
波
依

古米新米麦大豆
小豆大角豆蕎麦
粟黍稗胡麻苧
菜種豆船敷艘積
米四反之燕入玉

山陽道
分國



山陽道
分國
播磨
美作
備前
備後

國合巫似相場不
沙於膏拂之室屋
水上口淺美之相
宛劫合劫利潤
社为入之有損美之

備前
備前
備前
備前

備前
備前
備前
備前

備前
備前
備前
備前



備前
備前
備前
備前

備前
備前
備前
備前

備前
備前
備前
備前

丁家之海云去味嚼

酒酢醬油油麴油蠟

燭紙墨筆木此介

絹布於金襴縐子

純子紗縠縐縐縐子

備前
備前
備前
備前

備前
備前
備前
備前

備前
備前
備前
備前

備前
備前
備前
備前

備前
備前
備前
備前

備前
備前
備前
備前

備前
備前
備前
備前

備前
備前
備前
備前

備前
備前
備前
備前

備前
備前
備前
備前

羽二重小絹生絹

天鵝絨羅紗猩紙

羅符板毛縐兜羅

綿端布藤布仁立

物古子去綿縐綿

干小高

糸	方	糴	糴	光	片	區	糴	解	解	糸
向	日	手	了	白	夕	才	鼻	牙	牙	糸
向	麻	糸	糸	雲	夕	巾	王	尊	尊	糸

深入紋線者為羅縠
 萌黃之羅縠者為紅粉
 紫青之羅縠者為紫縠
 紫青之羅縠者為紫縠
 深入紋線者為羅縠
 萌黃之羅縠者為紅粉

篇冠攝字盡

步	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙	牙
目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目
目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目

衣縠之羅縠者為羅縠
 紫青之羅縠者為紫縠
 深入紋線者為羅縠
 萌黃之羅縠者為紅粉
 紫青之羅縠者為紫縠
 深入紋線者為羅縠
 萌黃之羅縠者為紅粉

西	東	南	北	東	南	西	北	東	南	西	北	東	南	西	北
五	東	南	西	北	東	南	西	北	東	南	西	北	東	南	西
五	東	南	西	北	東	南	西	北	東	南	西	北	東	南	西

五波名抄筆出車
 水車沃泻地盤船差
 梅遠九瞳信月法已
 為業桐柏友善唐華
 女堂之好摸松恰好

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十

一之得良吉之用也其
 不改多之頃多其集
 決地性長刀鋒權
 兜袖淫汰障切付
 濟子德腹若鞅鞍

正續狀事

一以維今者懷古
國法初起
也者不待我
後亦事
備筆不
高者
何家
高者
多者
且於

履報五九繩叔方
須指之指目貫數
豚柄頭滿鞘細切
鷓自法以主好素
去珍滅金素銅鉄

五核合

半我味
之
之
之
之
之
之
之
之
之
之

家眼老紋彫為
位了每國不肉之
俗之唐物私為家
辨功獨瑤碑傑為
琥珀瑤環水尚青

音愛 只八
孔山 只八
柳 只八
張 只八
惜 只八
不 只八
真 只八
火 只八
西 只八
中 只八
外 只八
之 只八

卓 古 儀 人 為 烟 堆 茶
香 合 者 盒 前 從 家 子
地 硯 箱 文 庫 文 卷
筆 架 硯 屏 文 法 磁 石
南 家 亦 同 鏡 中 筆 苑

振 只八
老 只八
無 只八
老 只八
我 只八
空 只八
之 只八
在 只八
之 只八
空 只八
我 只八

中 主 次 雜 具 香 自 法
揆 相 樞 長 持 戶 柳
單 省 扇 風 扇 五 稟
障 子 簾 綉 綉 幕 梳 打
交 湯 桶 切 色 舟 為

孫也...
 山...
 一...
 法...
 公...
 有...
 如...
 可...
 何...
 衣...
 唐...
 之...

食...
 四...
 老...
 仍...
 灌...
 子...
 菜...
 柄...

下...
 唐...
 年...
 不...
 孫...
 孫...
 一...
 一...
 去...



抄...
 唯...
 本...
 見...
 某...

後在...
 後日...
 後...
 後...
 後...
 後...
 後...
 後...
 後...
 後...

子大黃細尋阿仙菜
 石解阿膠貝母獨活
 耳孝肉桂黃耆骨川
 苦為油薤黃者黃連
 三稜白芷茴香陳皮

法...
 法...
 法...
 法...
 法...
 法...
 法...
 法...
 法...
 法...

羌活桂枝中身及藜
 述枳殼已豆蓮肉桃
 仁杏仁仙羅麝香
 乾腦樟腦沉香白檀
 丁子人參硫黃煇硝

乃勤以中法
 二宜有德代
 何宗法考在
 万核食以法考
 宗法中者考分
 具和以法同法
 何法以法法考
 决之考不统
 考考何法法法
 法考以法法法
 方以法以法考
 考考以法法考

绿青的碧石练茶
 粉茶散茶膏茶全
 尔及茶将不用堂入
 平法正法考一考外
 山海真鸟热石鸭

乃勤以中法
 乃安以法法法
 考以法以法考
 中法夫考法考
 今中法考法考
 考法以法法考
 考法以法法考
 考法以法法考
 考法以法法考
 考法以法法考
 考法以法法考
 考法以法法考

雄子勃重崔路白考
 勃唯略朝鲤刺鳍
 王似奥路法血铸露
 舫地籍能鸟俄幸悒
 宗想指海月海老蛤

古券心半



永... 家
登浦之車

一何... 同... 例

何... 同... 表

系... 同... 表

所... 同... 表

永... 同... 表

狂... 馬... 刀... 觀... 然... 然... 乾...
... 丁... 精... 亥... 海... 嵐... 練...
... 百... 均... 錫... 塔... 新... 性... 言... 以... 氣...
... 乾... 亦... 精... 固... 為... 獨... 依... 正...
... 除... 取... 令... 融... 之... 沈... 在... 亦... 也...

公... 代... 何... 何... 表

永... 代... 何... 何... 表

實... 代... 何... 何... 表

此... 代... 何... 何... 表

不... 代... 何... 何... 表

此... 代... 何... 何... 表

依... 代... 何... 何... 表

何... 代... 何... 何... 表

義... 代... 何... 何... 表

中... 代... 何... 何... 表

那... 代... 何... 何... 表

為... 代... 何... 何... 表

為... 代... 何... 何... 表

... 後... 雖... 為... 混... 龍... 唯...
... 初... 學... 子... 之... 喜... 皇... 年... 生... 之... 矣...
... 扱... 文... 字... 之... 五... 仁... 思... 出... 粗...
... 池... 第... 也... 杯... 生... 商... 膏... 之...
... 家... 宰... 法... 切... 雅... 對... 先...

御云儀儀之拜借

得領全致之

以不為後日之

承以春物仍併

承以春物仍併

承以春物仍併

承以春物仍併

承以春物仍併

承以春物仍併

承以春物仍併

承以春物仍併

承以春物仍併

子以算術之執巧而

肝雲也然言歌也秋

能活也然言歌也秋

強弱報之報也理

可琴也言古之德也

何年幸書入

令子以和借用

中處實也

子幸也

法也

名也

此也

孫也

乃也

禮也

年也

業有德力折之人

下和嗜或基將基又

亦小秋之味線長酒

宴遊與或不致分

限隨衣服家定泉冰

人の名頭字

元	金	岩	助	登	麻	後	武	門	弥	轟
氣	五	幾	久	光	邦	平	馬	百	無	茂
氣	源	作	長	茂	芳	舟	能	虎	水	文
九	龜	定	長	角	雨	梅	滿	外	松	八

築山樹木常若松
 樂之之貴年逢海事
 其善之公善激成滅
 其秋起之見世棚
 奇藤扶板夜言

熱	三	字	水	一	又	嘉	金	右	信	堀	轟
松	他	基	龍	恒	好	字	与	伸	長	利	忠
瀨	日	衣	若	要	為	友	作	狹	六	仁	最
常	次	務	法	右	然	安	在	林	竹	治	年

資食致之為兼和契
 食之利操人之目
 象天罪者重而向
 未人可稀忘天道
 之働守之終富貴

有卦卦名

木 本世のふくまはう
命はなほまほまほ
のついでにまほまほ

性 ちのうのうのう
ちのうのうのうのう

性 大世のふくまはう
土月にはまほまほ
のついでにまほまほ

性 ちのうのうのう
ちのうのうのうのう

性 命 命のふくまはう
命のふくまはうのう
のついでにまほまほ

性 命 命のふくまはう
命のふくまはうのう
のついでにまほまほ

性 命 命のふくまはう
命のふくまはうのう
のついでにまほまほ

性 命 命のふくまはう
命のふくまはうのう
のついでにまほまほ

性 命 命のふくまはう
命のふくまはうのう
のついでにまほまほ

性 命 命のふくまはう
命のふくまはうのう
のついでにまほまほ

盤昌子孫榮家
瑞樹也倍之利潤
見類仍水件

此文書ハ為高家の身ヲ清美ノ業ヲ導ク文字ト
スル也依テ世に板行多ク其ノ中ニ於テ細字ハ其
文字書畫ハ其ノ中ニ於テ板行多ク其ノ中ニ於テ細字ハ其

國分町十九軒

伊勢屋半右衛門版

國井
根子

1111111111